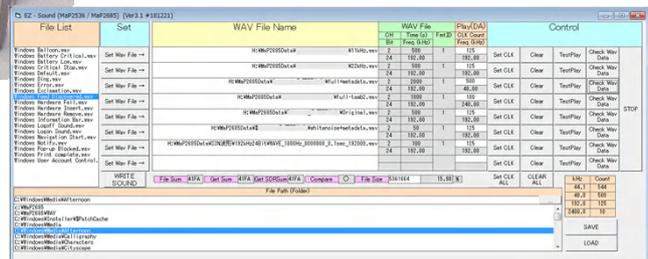


“直ぐに鳴る” 音刺激を実現。



音刺激ユニット



制御プログラム

トリガ信号でほぼ遅延なく音刺激提示を実現

- ・専用プロセッサとDA変換により、高精度な音刺激提示を実現します。
- ・外部のトリガ信号を出力する機器と組み合わせ、正確なタイミング*1での音刺激提示が可能です。

複数のWAVファイル音源の利用・登録が可能

- ・複数のトリガ入力によって、数種類*2の音ファイルを選択して出力できます。
- ・音源はWAV形式のファイルを使用します*3。
- ・音源データは合計126秒間*4まで登録可能です。

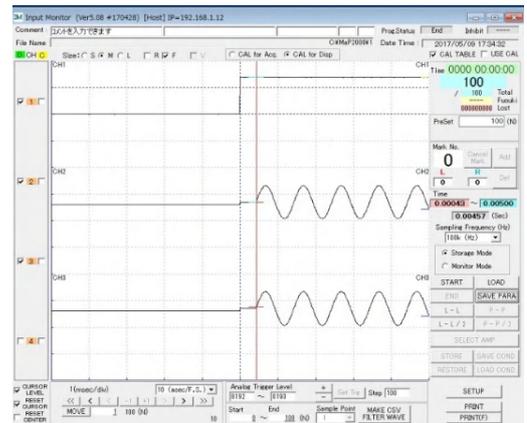
純音とホワイトノイズの音圧校正が可能 (オプション)

- ・音圧レベル校正済みの純音 (100~10kHz) やホワイトノイズのWAVファイルが作成でき、提示刺激として使用できます。

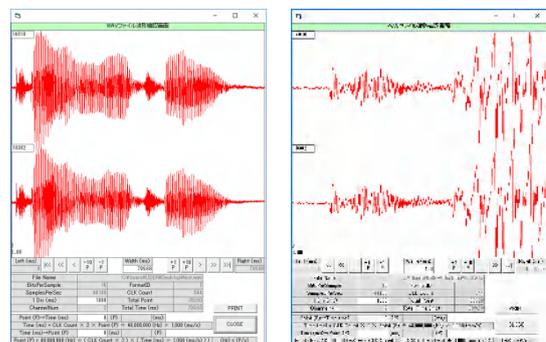
ハイレゾ対応*5 (MaP2685SYSのみ対応)

- ・音刺激ユニットMaP2685SSUを使用することで、ビットレート:24bit、サンプリングレート:192kHzのハイレゾ音源の出力が可能です。

*1:外部トリガより一定の遅延(460(μs))があります。
 *2:標準構成では8種類となり、オプションで16~1024種類に対応できます。
 *3:WAVファイルには複数の形式があります。ご使用になるデータの形式を事前にご確認ください。
 *4:合計時間はサンプリング周波数により異なります。
 *5:MaP2536SSUは非対応で、16bit,44.1kHzのWAVファイルのみの対応となります。



トリガ波形の入力と音声出力のタイミング (弊社インプットモニタによる記録)



WAVファイル波形確認画面:例 (左:全体表示、右:0~100msの拡大表示)

音刺激システム MaP2536SYS [標準仕様] / MaP2685SYS [ハイレゾ仕様] 仕様

音刺激ユニット (MaP2536SSU / MaP2685SSU) 共通

●入力: ・トリガー信号	外部トリガー8系統(TTL:3.3(V) or 5(V)、立ち上がり検出)、端子:BNC(J) × 8
●出力: ・オーディオ信号	RCA(ステレオ)、D/A生波形とHFFフィルターによる同時出力、端子:RCA(L+R) × 2
・オーディオ出力電圧	0 ~ 3.3(V) *±1.65(V)に相当
・コモントリガー信号	TTL(5(V))、オーディオ信号の提示と同期、端子:BNC(J) × 1
●設定: ・高周波遮断フィルター	積分時定数:22(μs)と5(μs)[ハイレゾ仕様用]より選択
●寸法、重量	W260 × D180 × H50 (mm)、170(g) *突起部含まず
●電源	AC100(V) ACアダプタ(5(V))

制御用プログラム 機能

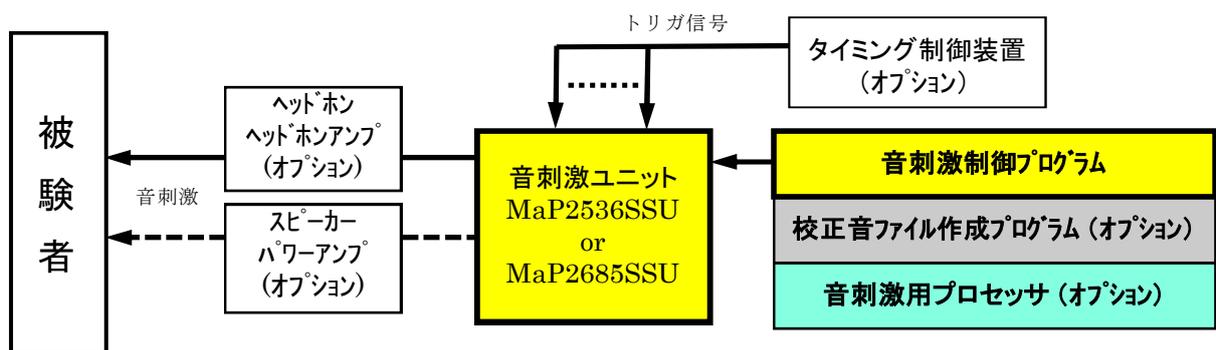
・WAVファイルの選択	・WAVファイルの波形確認
・音刺激ユニットへのWAVファイルのデータ転送	・各音刺激のテスト再生
・データ転送時のエラー検出・表示(サムチェック方式)	・クロックカウント(DA周波数: max 2400kHz)の変更
・各ファイル設定の保存と読み込み	

構成

音刺激ユニット(MaP2536SSU [標準仕様] or MaP2685SSU [ハイレゾ仕様])、本体、ACアダプタ、PC接続用USBケーブル × 2、制御用プログラム(CD-ROM)

システム構成例

※ご要望とご予算に応じてシステムの構成ができますので、お問い合わせください。



※仕様は予告なく変更することがあります。

基礎医学研究用機器のため
臨床用途には使用できません。

注意

● 正しくお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。



お問合せ先 (販売元)

ニホンサンテック株式会社 MaP工房

〒545-0032 大阪市阿倍野区晴明通9-40

TEL: 06-6652-5984 FAX: 06-7850-3671

<http://www.santeku-map.com>

※この記載内容は2019年10月現在の内容です。

NST_MaP#191025